

はじめまして

神戸で小3と小1の娘とあとから主人も加わって、家族4人でヒッポファミリークラブに参加しています。

入会のきっかけ

あるとき街で「7カ国語で話そう」のポスターを見かけて・・・英語や韓国語、ドイツ語にふれる機会があって、言葉がわかったらなあ～と思っていた矢先で、「えっ、7カ国語」「どうやって?」「どんな人たちの集まり?」こんな疑問が湧き、確かめてみたくなり体験会に子供を連れて出かけていきました。行ってみると・・・7カ国語どころかそれ以上!先生がいるわけでもなく外国人がいるわけでもなく、みんなが楽しそうに何カ国語かで話している!

私にはチンブンカン???でも、我が子は違和感なく、その場に参加していました。私は、ますます興味がわき、もう少し行ってみたい気持ちになりました。



話せちゃった!

それが、ファミリー（ヒッポの活動の場）に足を運ぶようになり、みんなのまねをして歌うように言うだけで、周りの音が少しずつ聞こえてくるようになりました。気がつけば、アフリカの方が一泊家に泊まりに来たり（ヒッポのホームステイ交流）、ヒッポメンバーに誘われるがままに韓国に遊びに行ったり・・・その韓国では、ウズベキスタン・ロシアetcいろんな人と話しました。フェリーや地下鉄、公園で会えば、自然に「アニュハセヨ～」に挨拶をしていました。何を言っているのか100%はわからないのですが、「あっ、これファミリーで聞こえる音」「あっ、CDの中のあの辺りで聞こえる音」、そんな結びつきで なんとなく半分くらいは意味がわかり、会話していました。

子どもたちの冒険

ヒッポではたくさんの交流プログラムがあり、その中でも子どもたちは、小学生5年生になったらどこかに行けると思っているみたいで、（小学校5年生から夏休みにいろんな国へホームステイする青少年交流があります）最近台湾に行きたいと言っています。どこかで、台湾では美味しい物が食べられると耳にしたみたいで・・・なので、家では自然と台湾語のCDをかけるようになり、「アイチャン...」「ガナコ...」「ツギトイレ?」といった台湾語の音（台湾語）が聞こえる♪聞こえた～♪と面白がっています。ヒッポに参加する前には、台湾語がこんなに身近になるなんて思いもよりませんでした。もし、台湾を訪れる機会ができれば、「タゲホー!（こんにちは）」と自然に挨拶ができる自分や子どもたちがいると思うととても楽しくなります。



主人を

「チャオ!」??

そんな私たちにつられて、普段仕事でなかなかファミリーに来られない主人ですが、職場で突然、家で子どもたちにいつも言われているイタリア語で「チャオ! コモエスタ?」と自己紹介してみた・・・それが通じたみたいだと話してくれたことがおかしくて・・・。家族みんなが、それぞれに変化していることが、とても楽しく感じられています。

今は、家族の中での多言語が特別なものじゃなくなっているような気がします。それが日本に居ながらにして・・・と思うと、とても不思議な気分です。